

## 点眼薬について

今回は点眼薬についてです。点眼薬は一般用医薬品も含めれば多くの人が使用したことがある薬剤だと思いますが、目薬を使っている人で、正しく点眼できている人は半分以下ともいわれています。

### ～点眼薬の使用方法～

#### ①手を清潔にする

#### ②点眼する

○1日の点眼回数及び1回あたりの滴数を守りましょう。

1回の滴数は、医療用の点眼薬であれば1滴とされているものが多いです。点眼薬の1滴は30～50μL、人間の眼に溜めておける量は25～30μLと言われているため、確実に点眼できれば1滴で十分です。それ以上点眼しても、目の外にあふれたり、涙点を通して鼻涙管へ排出されたりします。

○点眼する際、容器の先端が直接目に触れないように注意しましょう。薬液が汚染されるリスクがあります。

#### ③拭き取る

○点眼後は目の周りについた薬液を拭き取りましょう。

皮膚に薬液が付いたまま放置するとかぶれる場合があります。

また、緑内障に使われるPG系の点眼薬（タ°トなど）は、副作用として虹彩や眼瞼への色素沈着（メラニンの増加）による色調変化や眼周囲の多毛化が生じることがあります。PG系の点眼薬を使用している場合には、点眼後に薬液をよく拭き取るか、洗顔をするようにしましょう。

#### ④まぶたを閉じる・涙嚢部を押さえる

○涙嚢部を押さえることによって、薬が目になんとどまり、効果がしっかり発揮されます。また、全身への移行を防ぐ効果もあります。例えば緑内障に使われるβ遮断薬（テロルXE、ミランAなど）は、全身に作用すると、β受容体遮断による気管支平滑筋収縮作用により、気管支痙攣、呼吸困難、呼吸不全があらわれることがあります。涙嚢部を押さえることによって、これらの副作用を減らすことができます。

○目の手術後に使う点眼薬の場合は、傷口に触れることもあるため、涙嚢部を押さえるのではなく、まぶたを閉じるだけにしましょう。



## ～2種類以上の目薬を使う場合～

**5分以上**間隔をあけましょう。

点眼間隔が短いと先に点眼した薬液が、後に点眼した薬液によって洗い流されてしまい、十分な効果が得られないことがあります。

順番は以下の通りです。懸濁性点眼剤、ゲル化する点眼剤使用後に点眼する際には十分な間隔をあけましょう。

#### ①水性点眼剤

…ほとんどの点眼剤



#### ②懸濁性点眼剤



#### ③ゲル化する点眼剤



#### ④眼軟膏



今回紹介したことは、目薬を使う上での一般的なものです。医師、薬剤師より別に指示のある場合はそれに従いましょう。

参考文献  
点眼剤の適正使用ハンドブック-Q&A-第2版 公益社団法人 東京医薬品工業協会点眼剤研究会 関西医薬品協会点眼剤研究会  
目薬の使い方 第2版 公益社団法人 東京医薬品工業協会点眼剤研究会 関西医薬品協会点眼剤研究会  
目薬(点眼液・眼軟膏)の使い方 | 参天製薬 (santen.co.jp)  
各種ホームページ、添付文書

薬局では、DI Newsで取り上げて欲しい内容を募集しております。何かございましたら、院内のメールにて薬局中村までご連絡ください。